２／２７（木）～３／７(金)の行事

報道発表資料の配付日時　２月 21 日（金）10 時 00 分

発表項目（行事名）	令和６年度（2024 年度）日高管内教育実践表彰について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	日高教育局では、昭和 42 年から、管内教育の充実発展を図ることを目的として、学校教育及び社会教育の振興に功績のあった団体、個人を表彰しています。 この度、実践表彰として５団体２個人、特別賞として２団体６個人の受賞者を決定しました。 この内、実践表彰受賞者に対しては、日高教育局長　行徳　義朗が関係学校等を訪問の上、別記のとおり表彰式を実施します。 ※特別賞受賞者には当局職員が学校等を訪問しての表彰式は実施しません。		
参考	【配付資料】 ・令和６年度（2024年度）日高管内教育実践表彰受賞者一覧 ・「実践表彰」受賞者の功績の概要 ・日高管内教育実践表彰要項		

報道（取材）に当たってのお願い		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当（連絡先）	日高教育局企画総務課長　茶畑博之（TEL 0146-22-9480） 企画総務課総務係長　木島智一（TEL 0146-22-9481）

別記

１　受賞者

別紙「令和６年度（2024 年度）日高管内教育実践表彰受賞者一覧」のとおり

２　贈呈方法

(1) 実践表彰

表彰式を執り行う。

日時	受賞者	開催場所
令和７年（2025 年） ２月 27 日（木） 11 時 00 分から	日高町立厚賀小学校	日高町立厚賀小学校
令和７年（2025 年） ２月 27 日（木） 13 時 00 分から	北海道富川高等学校	北海道富川高等学校
令和７年（2025 年） ２月 27 日（木） 14 時 30 分から	北海道静内高等学校 教諭　横　山　晃　秀　氏	北海道静内高等学校
令和７年（2025 年） ２月 28 日（金） 10 時 30 分から	浦河町立荻伏小学校	浦河町役場
令和７年（2025 年） ２月 28 日（金） 10 時 30 分から	浦河町立浦河東部小学校 教諭　紫　竹　陽　介　氏	浦河町役場
令和７年（2025 年） ３月４日（火） 14 時 30 分から	えりも町立えりも小学校	えりも町立えりも小学校
令和７年（2025 年） ３月７日（金） 14 時 10 分から	新冠町立新冠小学校	新冠町立新冠小学校

(2) 特別賞

郵送による対応とする。

令和６年度(2024年度)日高管内教育実践表彰受賞者一覧

＜実践表彰＞　　（５団体・２個人）

番号	団体・個人別	推薦者	団体名 ・ 個人名（所属）	功績の概要	贈呈方法
1	団体	日高町	日高町立厚賀小学校	学校教育	表彰式
2		新冠町	新冠町立新冠小学校	国語科における令和の日本型学校教育に基づく授業改善の推進	表彰式
3		浦河町	浦河町立荻伏小学校	地域の人材を生かし、教科との関連を明らかにした総合的な学習の実践	表彰式
4		えりも町	えりも町立えりも小学校	学校教育	表彰式
5		学校長	北海道富川高等学校	地域から世界に発信する探究学習	表彰式
6	個人	浦河町	紫　竹　陽　介 （浦河町立浦河東部小学校）	へき地複式教育における先進的な授業運営	表彰式
7		学校長	横　山　晃　秀 （北海道静内高等学校）	書道教育を通しての地域振興及び高等学校教育の発展充実への寄与	表彰式

＜特別賞＞　　（２団体・６個人）

番号	団体・個人別	推薦者	団体名 ・ 個人名（所属）	推薦功績	贈呈方法
1	団体	学校長	北海道浦河高等学校　馬術部	・第58回全日本高等学校馬術競技大会　準優勝	郵送
2		新ひだか町	北海道三石翔武館	・第63回道南剣道大会　小学生低学年の部　優勝 ・第58回南北海道少年剣道大会　小学生高学年の部　優勝 ・第29回十勝大平原全道少年剣道錬成大会　小学生高学年の部　優勝	郵送
3	個人	学校長	畑　山　陽　菜 （北海道浦河高等学校３年）	・第78回国民スポーツ大会「SAGA　2024国スポ」馬術競技大会　第12競技　少年団体障害飛越競技　優勝	郵送
4		新ひだか町	岡　本　燦　李 （三石小学校５年）	・第42回北海道小学生陸上競技大会　女子５年100m優勝 【参考】第40回全国小学生陸上競技交流大会女子５年100ｍ６位入賞	郵送
5		浦河町	大　池　由起菜 （浦河第二中学校１年）	・北海道地区予選IN日高育成牧場（ダート直線200M）予選第１レース１着、地区代表決定戦１着 【参考】全国ポニー競馬選手権　第14ジョッキーベイビーズ決勝大会（東京競馬場　芝直線400M）決勝大会５着	郵送
6		浦河町	榊　原　沙　紀 （浦河第一中学校３年）	・第51回令和６年度ＪＡ共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール　北海道知事賞（金賞） 【参考】全国ＪＡ共済小・中学生交通安全ポスターコンクール「全国共済農業協同組合連合会会長賞（銀賞）」	郵送
7		新ひだか町	林　　将　輝 （静内第三中学校３年）	・第６回 ＷＢＳＣ U-15 ワールドカップ日本代表選出優勝	郵送
8		浦河町	酒　井　夏　羽 （浦河第二中学校３年）	・令和６年度全国中学校体育大会　第45回全国中学校スケート大会　女子500m　1位	郵送

「実践表彰」受賞団体及び受賞者の功績の概要

【日高町立厚賀小学校】

「学校教育」

厚賀小学校は、「自信と思いやりを高める教育の展開」を重点に掲げ、ＰＢＳ（ポジティブな行動支援）等を取り入れながら、知・徳・体の生きる力を確実に育むために、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「幼保小中連携」「地域・家庭等との連携」の５つの取組を推進しています。

特に、学力向上プランを具体的に見える化し、全教職員で共通理解を図りながら、学習規律の徹底、授業スタイルの構築、指導と評価の一体化などを推進するほか、道徳教育において研究主題を設定し、自己肯定感を高める学びを継続しています。

こうした取組の成果を管内の研修会で実践発表し普及を行うなど、管内教育の充実発展に大きく寄与しました。

【新冠町立新冠小学校】

「国語科における令和の日本型学校教育に基づく授業改善の推進」

新冠小学校は、「自ら学び、考えを深め合う子どもの育成」を研究主題に掲げ、国語科における個別最適な学びの充実を目指し、全教職員が一丸となって研究活動の推進と授業改善に取り組んでいます。

特に、国語科を要として、指導内容や系統性を明確に押さえた単元学習に取り組むほか、どの学級も統一した学習規律の定着を目指した取組を進めることで、安心して学べる風土の醸成を図り、授業改善を軸とした学校改善を展開しています。

こうした取組の結果、国語科の学力向上が図られ、その優れた教育実践は、管内教育の充実発展に大きく貢献しました。

【浦河町立荻伏小学校】

「地域の人材を生かし、教科との関連を明らかにした総合的な学習の実践」

荻伏小学校は、「地域と共にある『みんなの荻伏小学校』」を重点に掲げ、総合的な学習の時間において、探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら、自己の生き方を考えることができるように教育活動を推進しています。

こうした取組の成果を、「夢いっぱい自ら学び未来を拓く児童の育成」と題して教育論文にまとめ、「公益財団法人東京海上日動教育振興基金」の教育研究助成が決定されるなど、その優れた教

育実践は、管内教育の充実発展に大きく寄与しました。

【えりも町立えりも小学校】

「学校教育」

えりも小学校は、「知・徳・体のバランスの取れた教育」を重点に掲げ、管理職のリーダーシップのもとで、教職員が一致協働のチームとなり、一人一台端末を活用した授業改善や道徳教育の充実、日常的な体力向上に取り組んでいます。

特に、令和４年度から令和６年度の３年間、文部科学省から「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の指定を受け、幼児教育施設と小学校が互いに連携し、幼小の研修や交流など、幼児期から小学校へのなめらかな接続を図る「えりも町架け橋期のカリキュラム開発」に取り組みました。

こうした取組の成果を、管内のみならず全道規模の研修会で実践発表し、普及を行うなど、その優れた教育実践は、管内教育の充実発展に大きく寄与しました。

【北海道富川高等学校】

「地域から世界に発信する探究学習」

富川高等学校は、探究学習を教育課程の基軸に捉え、学校と地域が一体化した取組を実践しています。

探究学習の主な取組として、「日高町における地域自立管理型水道調査」を地域と連携・協働して調査研究を行い、第 25 回日本水大賞厚生労働大臣賞」を受賞しました。

こうした調査研究活動は、世界的にも高い評価を得て、インドネシアで開催された「第 10 回世界水フォーラム」や、フランスで開催された「OECD Project Infinity :Student and Teacher Summit」で発表を行うなど、大きな成果をあげ、その優れた教育実践は、管内教育の充実発展に大きく寄与しました。

【紫　竹　陽　介（浦河町立浦河東部小学校　教諭）】

「へき地複式教育における先進的な授業運営」

紫竹教諭は、浦河東部小学校において「浦河町授業スタンダード」を基に、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいます。

特に、複式学級の特性を生かし児童が主体的かつ自立的に学ぶ授業運営や、ＩＣＴの効果的な活用を図り自力解決を重視した授業を構築しました。

こうした取組の成果を、日高へき地複式教育研究会で公開授業を行い、へき地複式教育における活性化を図るなど、その優れた教育実践は、管内教育の充実発展に大きく寄与しました。

【横　山　晃　秀（北海道静内高等学校　教諭）】
「書道教育を通しての地域振興及び高等学校教育の発展充実」

横山教諭は、書道科教員として書道教育を通じた地域振興に尽力しています。

特に、書が人々の心に感動を与えることを生徒の心に根付かせており、顧問を務める書道部で指導を受けた部員は、道内はもとより全国規模の多くの大会等で優秀な成績を収めています。

また、音楽とともに踊りながら文字を書く書道パフォーマンスを取り入れ、地域の式典や行事において書道部員が披露するなど、特色のある教育実践は、管内教育の充実発展に大きく寄与しました。

日 高 管 内 教 育 実 践 表 彰 要 項

(昭和42年10月１日局長決定)
(昭和61年11月28日一部改正)
(昭和63年１月９日一部改正)
(平成２年12月26日一部改正)
(平成３年12月26日一部改正)
(平成７年12月６日一部改正)
(平成13年12月12日一部改正)
(平成15年12月26日一部改正)
(平成16年10月27日一部改正)
(平成18年11月１日一部改正)
(平成19年11月29日一部改正)
(平成21年11月26日一部改正)
(平成24年12月25日一部改正)
(平成29年２月16日一部改正)
(平成30年２月27日一部改正)
(平成30年11月28日一部改正)
(令和２年11月30日一部改正)
(令和４年10月27日一部改正)
(令和５年10月26日一部改正)

１　目的

日高管内の学校教育及び社会教育の振興に功績のあったものを表彰し、もって充実発展を図る。

２　表彰の種類

表彰は、実践表彰及び特別賞とする。

３　表彰対象

団体及び個人

４　表彰候補者等の推薦

(1) 推薦の観点

ア　実践表彰

(ｱ) 優れた研究や実践活動を行い、その功績が顕著であるもの

(ｲ) 学校教育又は社会教育の振興に寄与する活動を行い、その功績が顕著であるもの

イ　特別賞

官公庁又は全国的若しくは全道的な組織・団体等が主催する各種大会や発表会等において、優秀な成績をおさめたもの

(2) 推薦の方法

道立学校長、町教育委員会教育長及び日高管内教育委員会連絡協議会会長は、別記に基づき、別紙第１号様式又は別紙第２号様式により、教育局長に推薦する。

なお、同一の表彰の種類かつ同一の推薦区分に複数の候補者を推薦する場合は、順位を付して推薦する。

５　被表彰者の決定

(1) 実践表彰

各道立学校長、町教育委員会教育長及び日高管内教育委員会連絡協議会会長から推薦のあった者の中から、別に定める選考委員会の審議を経て、教育局長が決定する。

(2) 特別賞

各道立学校長及び町教育委員会教育長から推薦のあった者の中から、教育局長が決定する。

6　表彰の方法及び時期

(1) 表彰は、表彰状等を贈呈して行う。

(2) 表彰の時期は、その都度決定する。

7　その他

この要項に定めるもののほか、表彰に関し必要な事項は教育局長が定める。

別記

1　実践表彰

推薦区分	表　彰　対　象	推　薦　者
団体	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校及び関係団体	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長
	道立の高等学校・特別支援学校及び関係団体	各道立学校長
	管内の学校教育又は社会教育の振興に寄与する活動を行った関係団体（子育て支援や青少年育成を行った団体、少年団、地域学校協働本部、家庭教育サポート企業、子どもの読書活動等の取組を行った団体等）	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長
個人	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校の教職員（※）及び支援者	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長
	道立の高等学校・特別支援学校の教職員（※）及び支援者	各道立学校長
	管内の学校教育又は社会教育の振興に寄与する活動を行った関係者（子育て支援や青少年育成を行った者、少年団、地域学校協働本部、家庭教育サポート企業、子どもの読書活動等の取組を行った者等）	各町教育委員会教育長 日高管内教育委員会連絡協議会会長

2　特別賞

推薦区分	表　彰　対　象	推　薦　者
団体	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校及び関係団体	各町教育委員会教育長
	道立の高等学校・特別支援学校及び関係団体	各道立学校長
個人	町立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校の幼児、児童及び生徒	各町教育委員会教育長
	道立の高等学校・特別支援学校の児童及び生徒	各道立学校長

※　表彰の対象となる教職員の範囲

校長、教頭、主幹教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、園長、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師、事務長、事務職員、学校栄養職員、実習助手、技術職員、寄宿舎指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等